

“自然災害への備えと専門家の役割” シンポジウム開催のお知らせ



～ 南海・東南海地震に備えて～

私たち阪神・淡路まちづくり支援機構は、被災地に生まれた専門家職能団体の横断的組織として、市民主体の復興に資するべく、専門家の連携の必要性を強調し、また、これまで培ってきたノウハウを共有するため、全国に対して啓蒙・情報発信活動を行っております。

和歌山県におきましては、ご承知のとおり、東海・東南海・南海地震の発生確率が高まっており、過去の地震記録等によれば、これら3つの地震は連動して発生する可能性も高いとされ、被害も甚大なものと推定されています。

災害時に各専門士業が行政とどのように連携協力すべきかについて考え、また、市民にも身近な問題として関心を持っていただくため、下記のとおりシンポジウム「自然災害への備えと専門家の役割」を開催することといたしました。

日時 2012(平成24)年2月23日(木)

午後1時30分～午後4時30分

会場 和歌山商工会議所 大ホール(和歌山市西汀丁36)

プログラム 第1部 基調報告馬場民生

沿岸地域のコミュニティと津波災害

～和歌山県串本町の事例調査より～

報告：田中正人(都市調査計画事務所・代表)

台風12号被害の実情

報告：田結庄良昭(神戸大学名誉教授)

第2部 ミニシンポジウム「災害時の専門家の役割」

参加費無料・予約不要(どなたでもご参加いただけます)

主催

阪神・淡路まちづくり支援機構

日本建築学会近畿支部

南海地震等減災プロジェクト研究部会

交通案内

JR和歌山駅より

和歌山バスにて約10分。市役所前下車すぐ。
(タクシー利用の場合 約7分程度)

南海和歌山市駅より

和歌山バスにて約10分。市役所前下車すぐ。
(タクシー利用の場合 約5分程度)



連絡先：阪神・淡路まちづくり支援機構
電話 078-362-8700